

「考え、議論する道德」の実現に向けた授業構想<小・道德>

特別研修員 道德 石井千恵美（小学校教諭）

主題名 がんばりがつづくのは
内容項目 A-(5)希望と勇気、努力と強い意志
教材名 『うまくなりたけれど』

主題名 家族できょう力し合うこと
内容項目 C-(15)家族愛、家庭生活の充実
教材名 『お母さんのせいきゅう書』

授業改善の視点

自分の思いを表現できない児童でも、心情円盤を使うことで自分の思いや考えを表出しやすくする。ノートに心情円盤の記録を残すことで、授業における導入と終末の児童の変容を比較でき、見取りの一助とする。

授業改善の視点

役割演技を取り入れることで、登場人物の心情の変化を自分事として捉え、葛藤等を理解しやすくする。また、演じた児童や見ていた児童の双方の考えを話し合わせることで多面的・多角的な理解につなげる。

過程

主な学習活動（○発問 ◎中心発問）

導入

1. 本時で扱う道德的価値を想起し、問題意識をもつ。

○頑張ろうと思っても、途中で諦めてしまったことは、ありますか。理由も教えてください。

道德的諸価値についての理解を深めるために

- ・アンケート結果を提示して、問題意識をもたせる。
- ・悩む気持ちをノートの心情円盤と手持ちの心情円盤で可視化させ、導入時の児童の心情を見取る。

がんばりを続けるために、大切なことを考えよう。

1. 本時で扱う道德的価値を想起し、問題意識をもつ。

○家族がいてよかったと思うのは、どのような時ですか。理由も考えましょう。

道德的諸価値についての理解を深めるために

- ・アンケート結果を提示することで、家族からしてもらっていることが多いことに気付かせる。

「家族」で大切なことは、何だろう。

展開

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道德的価値の追求を行う。

- ゆきさんは習字の時間はどんな気持ちでしょうか。
 ◎ゆきさんは、どうして嫌な気持ちにならなかったのでしょうか。
 ○諦めないで続けても、上手にならないかもしれないけれど、続けますか。

○みなさんは、ゆきさんのように思えますか。心情円盤で表しましょう。



<ペアで話し合う児童>



<心情円盤を使い自分の考えを表現する児童>

物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために

- ・心情円盤の色の割合による児童の反応を予想しておき、児童が自分の考えを整理できるような問い返しをする。
- ・交流により心情円盤の色の割合が変わった児童に理由を述べさせることで、多様な考えに触れるようにする。

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道德的価値の追求を行う。

- だいすけは、どうして請求書を書いたのでしょうか。
 ○400円を受け取っただいすけは、どんな気持ちになったのでしょうか。
 ◎だいすけは、お母さんからの請求書を読んで、どのような気持ちになったのでしょうか。だいすけになりきって考えてみましょう。



<ペアで話し合う児童>



<役割演技をする児童>

○だいすけのお母さんへの気持ちは、どのように変わりましたか。

物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるために

- ・児童が自分の考えを明確にして整理できるよう、発言や行為の理由を問い返す。
- ・演じた児童、見ていた児童双方に考えを交流させることで、多面的・多角的な考えをもてるようにする。

終末

3. 本時で扱った道德的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○「うまくなりたい」、そのためにどのような気持ちをもてばいいでしょうか。

自己の生き方についての考えを深めるために

- ・導入での問題意識を問い直したり、教材名に戻ったりして自己を振り返らせる。
- ・お互いの考えを共有させることで、見つめ直したり深めたりして自己を振り返らせる。

3. 本時で扱った道德的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○これから家族の一員として、どのような気持ちで生活していきますか。

自己の生き方についての考えを深めるために

- ・導入で捉えた家族への思いを振り返らせ、これからはどのような気持ちで家族の一員として生活していくかを考えさせる。
- ・お互いの考えを共有させることで、見つめ直したり深めたりして自己を振り返らせる。

道徳科 学習指導案

平成30年6月 第3学年 指導者 石井 千恵美

1 主題名 がんばりがつづくのは 内容項目A－(5) 希望と勇気、努力と強い意志

2 教材名 「うまくなりたけれど」 (出典：日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

人は誰もが苦手なものや気ののらないものがあり、それにはなかなか積極的に取り組めない。しかし同時に「うまくなりたい、できるようになりたい」という希望ももっており、そのために努力することの大切さも知っている。諦めず努力し続けることの大切さや、人間の弱さを理解するだけではなく、どうすれば前向きに取り組めるのか、どのようにすれば努力が持続できるのかを考える必要がある。見通しをもった目標設定や、その意志と努力を支えるためには周囲の人たちの励ましも重要であることに気付かせたい。そうして粘り強く努力した経験や成功体験などを増やし、「私はできない」ではなく「私ならきっとできる」という心情を育てていきたい。

(2) 児童の実態について

第3学年では、社会科や理科、総合的な学習の時間等、新しい教科が始まり、毛筆やリコーダーの学習も加わった。多くの児童は新しい学習に希望や期待を抱き積極的に取り組んでいる。しかし、思ったようにうまくできずに一度おもしろくない、できないと感じてしまうとすぐに諦めてしまう児童もいる。こうした児童に対し、本気で取り組もうとする強い意志をもつことの意義と努力するために必要な心情について考えさせることはとても大切である。また努力をしている人は、周りから応援してもらえることにも気付かせたい。

(3) 教材について

本教材は、習字の時間にお手本通りに書けないことに嫌な気持ちになっていた主人公ゆきが、先生から励まされたり、先生にも同じような経験があって努力して上手に書けるようになったことを知ったりして、習字に対する考えが変わっていく話である。「うまく書けない」と努力していなかったゆきの気持ちを理解した上で、最後には習字に真摯に向き合い、本気で取り組む姿勢が大切だと気付いた心情に気付かせたい。さらに努力し続けるには、粘り強くやり抜く忍耐力とそれを支える周りからの励ましが重要であることにも気付かせたい。

4 指導方針

○本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつために

- ・心情円盤の色の役割を掲示しておき、児童が戸惑わないようにする。
- ・授業開始時の自分の心情を可視化できるようにノートの心情円盤にも色を塗らせる。

○中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行うために

- ・心情円盤を使い、主人公の気持ちの変化や自分自身の心の中を可視化できるようにする。
- ・色を塗った心情円盤を見せ合い、考え方の違いに気付かせ、努力と強い意志について考えられるようにする。
- ・心情円盤は、ゆきの気持ちと自分自身の気持ちの変化を混同しないように、児童が操作するのは自分自身の気持ちの変化を可視化する時だけにし、掲示用はハート形にして分かりやすくする。

○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

- ・つまりいた時の対応も含め、より深く考えさせるために、教師による問い返しを行う。
- ・導入と終末で児童自身の心情円盤に変化が生じた理由を考えさせる。

5 本時の展開

(1) ねらい

苦手なことでも、努力すれば少しずつ上達するということに気付いたゆきを通して、何事も最後まで粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。

(2) 準備

教師：教科書、デジタル教科書、心情円盤 (掲示用)

児童：心情円盤

(3) 展開

学習活動と発問	時間	予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 問題意識をもつ</p> <p>○頑張ろうと思っても、途中で諦めてしまったことは、ありますか。理由も教えてください。</p> <p>○これからも諦めたままでいいですか。心情円盤で表しノート的心情円盤に色を塗ろう。</p>	5分	<p>・スイミング、一輪車、ダンス等 ピアノ、鉄棒、サッカー、バスケ</p> <p>理由：できなくて嫌になったから。 上手にできないから。</p> <p>・本当はできるまで頑張りたい。</p> <p>・できるようになりたいけど、難しいから嫌になってしまう。</p>	<p>●アンケート結果を提示してこれまでの経験を想起させる。</p> <p>●頑張ろうとしても、つい諦めてしまうことが多いことを共有させる。理由も挙げさせる。</p> <p>●悩む気持ちをノートや手持ちの心情円盤で可視化させ導入時の児童の心情を把握する。</p>
<p>がんばりを続けるために、大切なことを考えよう。</p>			
<p>2 資料の朗読を聞き、ゆきの心の動きを考える。</p> <p>○ゆきさんは、習字の時間は、どんな気持ちでしょうか。</p> <p>○先生の秘密を知ってゆきさんは、どう思ったのでしょうか。</p> <p>◎ゆきさんは、どうして嫌な気持ちにならなかったのでしょうか。(ペアでの話し合い)</p>	20分	<p>・字を書くのが苦手な気持ち。</p> <p>・掲示されるから嫌。</p> <p>・筆でなんか書けるわけがない。</p> <p>・先生も最初からきれいな字が書けた訳じゃなかったんだ。</p> <p>・私も先生みたいになりたいな。</p> <p>・私にもできるかもしれない。</p> <p>・先生みたいに努力を続けて上手になりたいから。</p> <p>・みんなにほめられる字を書けるようになりたいから。</p> <p>・諦めないで続ければ上手になると思ったから。</p>	<p>●朗読を聞かせている間、挿絵とあらすじを掲示し教材の内容を整理する。</p> <p>●ゆきが習字に前向きになれない心情を理解させる。</p> <p>●ゆきが気付いたことを共有する。</p> <p>●挿絵のゆきの表情に注目させ変化に気付かせる。</p> <p>●心情円盤で自分の気持ちを可視化し、理由や根拠を伝え合う。</p> <p>●意見交換しやすいようにペアから全体の流れで、話し合わせる。</p>
<p>○みなさんは、ゆきさんのように思えますか。 (ノート的心情円盤に色を塗って心情円盤でも表しましょう。グループでの話し合い)</p> <p>【問い返し(◇)】</p> <p>◇苦しくても続けられますか。</p> <p>◇迷っていると進みません。どうしますか。</p> <p>◇やりたいこと諦めますか。</p>	10分	<p>[ピンク]</p> <p>・上手になりたいから頑張れる。</p> <p>・応援してもらえるから。</p> <p>[半々]</p> <p>・上手になりたいが、続けられるかわからない。</p> <p>[水色]</p> <p>・うまくいかないと嫌になってしまうと思う。</p> <p>・絶対に上手になるとは限らない。</p>	<p>●心情円盤で自己決定させた理由を伝え合うことで、自分の考えと友達の考えを比較させ、多様な考えに気付かせる。</p> <p>●友達の考えを聞いて、心情円盤の割合が変わった児童には理由を発表させる。</p> <p>●児童の考えを整理し伝えたり、別の視点を与えたりして多面的・多角的に捉えられるようにする。</p>
<p>3 本時の振り返りをする。</p> <p>○「うまくなりたい」、そのために、どのような気持ちをもてばいいのでしょうか。</p>	10分	<p>・諦めないで最後まで努力する。</p> <p>・自分はできるという強い気持ち。</p> <p>・同じ目標に向かって頑張っている友達と一緒に頑張る。</p>	<p>●導入での問題意識を問い直したり、教材名に戻ったりして自分自身のこととして振り返らせる。</p> <p>●よりよい生き方にするためには、どのような気持ちをもてばいいか考えさせる。</p> <p>●お互いの考えを共有させることで、見つめ直したり深めたりして自己を振り返らせる。</p>

(4) 評価の視点

- 心情円盤を活用して異なった考え方を知ること、頑張りを続けることの大切さについて、多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- 心情円盤を活用して自分の考え方を可視化することで、頑張りを続けるために必要なことについて、自分自身との関わりの中で深めているか。

指導例：主題名 がんばりがつづくのは A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志

教材名 『うまくなりたけれど』（日本文教出版）第3学年

ねらい：苦手なことでも、努力すれば少しずつ上達するということに気付いたゆきを通して、何事も最後まで粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。

過程

主な学習活動（○発問 ◎中心発問 ◇問い返し）

指導のポイント

導入

1. 本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつ。

○頑張ろうと思っても、途中で諦めてしまったことは、ありますか。理由も教えてください。

S：サッカー、バスケ、ダンス、逆上がり。

T：なんで諦めたのですか。

S：できないから。面倒だから。

○これからも諦めたままでいいですか。（心情円盤で表し、心情円盤に色を塗りましょう）

S：できるまで頑張ります。できなくても諦めません。

S：できるようにになりたいけれど、難しいから。

心情円盤

・各々の思いを基に自分の考えを可視化する。
・自分の思いを伝えられない児童も考えを表出しやすい。

赤色→頑張る。
青色→頑張れない。

がんばりを続けるために、大切なことを考えよう。

問題意識

○アンケート結果を提示してこれまでの経験を想起させる。
○悩む気持ちをノートの心情円盤と手持ちの心情円盤で可視化させ、導入時の児童の心情を把握する。

中心発問

○挿絵の表情に注目させ、ゆきの気持ちの変化に気付かせる。
○心情円盤で自分の気持ちを可視化し、理由や根拠を伝え合う。
○意見交換しやすいように、ペアで話し合わせた後、全体で話し合わせる。

展開

2. 中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行う。

○ゆきさんは習字の時間はどんな気持ちでしょうか。

S：字を書くのが苦手で嫌な気持ち。

S：筆でなんか書ける訳がないと思っている。

S：掲示されるから嫌い。

◎ゆきさんは、どうして嫌な気持ちにならなかったのでしょうか（ペアでの話し合い）。

S：先生みたいに努力を続けて上手になりたいから。

S：諦めないで続ければ上手になると思ったから。

◇諦めないで続けても、上手にならないかもしれないけど、続けますか。

S：最初は上手にできなくても、きっとできるようになるはずだから続けます。

S：目標があれば、頑張れると思うから続けます。 <心情円盤で表す児童>



道徳的価値に関する多様な考えを知り、自らを振り返ることで、道徳的価値の自覚を深める。

○みなさんは、ゆきさんのように思えますか（心情円盤で表しましょう）。

S：「ピンク」→上手になりたいから頑張れる。

S：「半々」→上手になりたいが続けられるか分からない。

S：「水色」→うまくいかないで嫌になってしまう。

◇嫌だからやりたいこと諦めますか。

S：諦めるのは嫌です。でもできないとやりたくない。

◇迷っていると進みません。どうしますか。

S：友達と一緒に頑張れるかもしれません。

◇「ピンク」の人は、つまずいたり苦しくなったりしても大丈夫ですか。一人でも頑張れますか。

S：目標があるからできます。

S：お母さんが応援してくれるからできます。 <ノートの心情円盤に表す児童>



協働や対話の場

○心情円盤で表した理由を伝え合うことで、自分の考えと友達の考えを比較させ、多様な考えに気付かせる。
○友達の考えを聞いて、心情円盤の割合が変わった児童には理由を発表させる。

問い返し（◇）

○気持ちをゆさぶるような問い返しをして、ねらいとする道徳的価値が深まるようにする。
○児童の考えを整理して伝えたり、別の視点を与えたりして多面的・多角的に捉えられるようにする。

振り返り

○導入での問題意識を問い直したり、教材名に戻ったりして自己を振り返らせる。
○よりよい生き方にするためにはどのような気持ちをもてばよいか考えさせる。
○お互いの考えを共有させることで、見つめ直したり深めたりして自己を振り返らせる。

終末

3. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

○「うまくなりたい」、そのためにどのような気持ちをもてばいいでしょうか。

S：諦めないで努力を続ける気持ち。

S：自分ではできるという強い気持ち。

S：友達と励まし合って頑張る気持ち。

S：同じ目標に向かって頑張っている友達と一緒に頑張る気持ち。

評価の視点

- ・心情円盤を活用して異なった考え方を知ること、頑張る続けることの大切さについて、多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- ・心情円盤を活用して自分の考え方を可視化すること、頑張る続けるために必要なことについて、自分自身との関わりの中で深めているか。